



歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団

団長：宮田 太郎 ☎090-7002-3431

本部：東京都多摩市

活動20年目を目前に控えて——楽しさと感動を軸に 多様なテーマでの「分科会方式」の活動を推進

世の中の科学技術や政治・経済情勢が刻々と変化していく中で、コミュニティー活動が果たす役割はさらに価値や意義を高めていくのでは…と感じる昨今。

最近、世界各地の研究機関による共同研究で、人は、どうしたら幸福だと感じることができるかについて調べたところ、「いかに自分以外の人と温かく接し合っているか」が究極の方法だと判明したそうです。他の人との比較や、お金や名誉ではないわけです。

これまで20年間に当団では600回以上のイベントを開催して来ましたが、それ以前のプレ研究会での活動を入れると数千回になることでしょう。たぶんこれは国内でもかなり多い方ではないかと思いますが、果たしてその成果として、何を遺し伝え、また届け、団員の皆様や活動仲間と温かく交流し合えることに奇与出来たかと思うと、まだまだこれからさらに



縄文ロード探索(相模川新小倉橋にて)

頑張らなくては…と思います。当団は学術研究団体というものを指すのではなく、またよくあるような、他の団体と競争するような存在には絶対にならない、と心して来ました。

歴史のロマンや魅力を様々な方法で共有し合い、交流し合うことで、地域に積み重なってきた歴史価値や先人たちの尊い暮らしぶりや息吹を実感し合うこと=また身近な地域において温故知新につながる機会が生まれることはとても素晴らしいことだと考えます。

そこで、5月からは、さらに分科会方式の活動を拡大し、団員の皆様が、自由に好きな場所に、その時・その時間わって行くことで喜びが増すように、また脳(ココロ)とカラダがバランスよく整うような健康づくりを目指していきたいと思います。引き続きどうぞ宜しくお願いします。

(団長 宮田太郎)

歴史古街道団 第19回 定期総会 & 発表会

第19回(2023年度)歴史古街道団の総会を下記のとおり、開催いたします。団員の方々のご出席をお願い申し上げます。

記

日時：2023年5月20日(土)
午後2時から3時まで

会場：多摩市関戸公民館(8階)大会議室

- 議題：① '22年度 活動報告
② '22年度 会計報告及び会計監査報告
③ '23年度 活動方針案審議
④ '23年度 予算案審議
⑤ '23年度 運営委員選任

左記歴史古街道団総会の後、団長および団員の発表会を次のとおり、開催します。

記

日時：2023年5月20日(土)
午後3時15分から4時30分まで

会場：多摩市関戸公民館(8階)大会議室

- 内容：①武田 義樹(団員)
「日々の生活を豊かにするヒントが古道探索にある」
～「運動」「ところ」「脳科学的視点」から考える～
②宮田団長「縄文時代の大型ゲストハウスが
多摩丘陵に複数あった?!」

参加費：団員無料 / 一般500円



宮田太郎団長の講演&歩いて探索する古街道ロマン

2~3ページ掲載の「現地探索ウォーク等のイベント」はいずれも以下の通りの共通内容です。

晴れていても、にわか雨・
通り雨対策として雨具は必需品

- 申し込み不要 当日現地にて受付 問合せ先 宮田太郎 宛
kokaido@r3.dion.ne.jp ☎は下行参照
- 昼食は基本は自由昼食
(複数の飲食店利用、弁当の方は最寄りの公園などで)
- 小雨実施(荒天中止 当日朝6:30までに決定)HPに掲載。不明な場合は、宮田太郎 (☎090-7002-3431) までお問合せ下さい)
- 参加費：団員1,000円/一般1,500円 ※高校生以下は無料 (7月22日の交流会は団員とそのお友達 700円/1人)
- 詳細は歴史古街道団HP参照

●飲み物 雨具等
ウォーキンググッズ持参

古代東海道7箇所の遺構を探るシリーズ ⑦ 多摩市・打越山遺跡編



2023年5月7日(日)・23日(火)

■現地探索ウォーク 《団員・一般対象》

多摩川を見下ろす丘で見つかった古代東海道
～飛鳥時代の道路跡「打越山遺跡」の歴史ロマン～

*2回にわたって同じ内容で開催(平日と日曜日分けて実施)

【内容】飛鳥時代の天智・天武天皇の時代に全国は66ヶ国に分けられ、七つの古代官道がその後の奈良時代までに整えられていきました。中でも太平洋側を進んだ古代東海道は、関東では相模国府から常陸国府までの間を結びましたが、未だにルートは解明されない部分が多くあります。多摩市で団長が確認し議会陳情を経て発掘された推定の道路遺構=打越山遺跡について現地立って案内いたします。このシリーズの最北端の地点となります。



【コース】小田急多摩線「永山駅」改札口前に10:00集合→馬引沢の大曲地点→聖ヶ丘→打越山遺跡の跡地→大谷戸公園で各自弁当昼食→春日神社→大坂→大栗川→聖蹟桜ヶ丘駅

鎌倉幕府の早馬・急使の道「鎌倉街道早ノ道」は地中に埋まっているのか— 多摩市で初の古道調査

打越山で発掘調査始まる
平成2年(1990)1月(多摩市連光寺)



試掘(トレンチ)から開始。道路遺構が数箇所に分かれて蓄積。人工的な工事面なども見つかる。よって遺跡とわかり本調査(発掘)が決定。地名呼称から「多摩市打越山遺跡」となった。



山側の立ち上がり部分=「**壘(へき)**」
土手状の部分=「**壘(るい)**」と規定(宮田)

道の進行方向に直角に入れたトレンチ(試掘溝)の深いところでは、大人二人がすっぽり隠れらるまで入ってしまう深さとなった。



2023年6月17日(土)・30日(金)

■現地探索ウォーク

《団員・一般対象》

古代甲州道に沿う縄文ロード① ～大栗川に面した集落遺跡～

*2回にわたって同じ内容で開催(平日と日曜日分けて実施)

【内容】諏訪湖やハヶ岳の縄文人たちと多摩丘陵の縄文人たちが、大栗川に沿う「古代甲州道」や「奥州古街道」に沿って集落遺跡を遺し、深く関わっていたことを考えながら、和田東寺方の段丘の遺跡(第2小学校遺跡)から、縄文時代ロングハウスが見つかった和田西遺跡までをたどって探索します。

【コース】京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口改札を出て右手の広場に10:00集合→有山集落跡→くみがたの坂→第2小学校遺跡→多摩市総合体育館(各自自由昼食レストランあり 弁当は屋外で食べることが可能)→庚申塚古墳→稲荷塚古墳と奥州古道→和田西遺跡→愛宕神社と愛宕社跡(古代～中世の烽火台?)→愛宕団地のバス停
* 永山駅 聖蹟桜ヶ丘駅 多摩センター駅へ



▲大栗川沿いの縄文遺跡からよく見えるランドマーク「愛宕山」



歴史古街道団 会員交流会

日程: 7月22日(土) 13:00~16:30

会場: パルテノン多摩(4階) 会議室1

日頃の古街道団の活動を通して知り会えた仲間との懇親および今後の古街道団のすすむ方向などについて、茶菓子と飲料をご用意しフリーディスカッションの交流会を実施します。

2部構成とし、第1部では来年設立20周年を迎えるにあたり、初心に帰るためアーカイブ映像と「古街道団の野望」を宮田団長から15分プレゼンします。

第2部では、最近の話題を代表者数名から10分プレゼンいただき、各テーマについてフリーディスカッションを行います。なお、代表プレゼンターは今後団のホームページ等で募集し内容を確認していきます。



○参加者は古街道団会員とそのお友達

○参加費 700円/1人

○飲料提供 茶菓子と飲料をご用意します。

○展示構成 会議室壁面に12古街道展のパネルや、過去の新聞記事等の簡単な掲示を行います。

○資料販売コーナー

過去のWK資料販売や(会員から供出された)歴史関係中古書籍のショップを予定しています。

第1部 総合テーマ: 歴古団の野望!! 大いに語ろう——

「道」がつかなく新時代のコミュニティー

1. 宮田団長から今後の方針「歴古団の野望を語る」…で鎌倉古道遺構を国に申請する。12古街道を歴史観光のメッカにする案、よこやま道の活用——など、20周年に向けての考えを発表(15分)。

第2部 各10分の話者テーマ

パネラーから映像を駆使し、今後の古街道団の姿、あったらいい企画、やってみたいウォーキングなど、自由な発想で提案・発表していただきます。もちろん会場の団員とのフリーディスカッションで進行させていただきます。

テーマは周年事業にフォーカスし、具体的な施策に絞ったものを募集していきます。今後の作業スケジュールは、古街道団のホームページや毎月発行のメルマガおよび個別ウォーキング等でご案内して参ります。

ガイドリーダーと行く史跡探索!

事前申し込み不要。当日現地にて受付。雨天時は中止。(小雨決行。当日朝7:30までに各連絡先にお問い合わせ下さい。)

昼食(弁当)・飲料・数物・雨具等ウォーキンググッズは各自ご持参下さい。参加費 団員 500円 一般は1名1000円(保険料込み)

*天候その他の理由のため日程やコースを変更する場合がございます。事前に歴史古街道回りのホームページなどでご確認ください。

古代景観を眺めて“健康ウォーク”

2023年

5月12日(金)

健康ウォーク情報▶▶ YoKii(宮田)

歴史古道ガイド▶▶ 宮田 団長

— 武相国境の「内裏峠(奥川と丸)」で古代甲州道を探索 —

連絡先 / 宮田 団長 ☎090-7002-3481

【内容】新緑が美しいこの時期、見晴らしの良い尾根道で体と心のリフレッシュをしましょう!

古代以来、相模原台地から武蔵野台地へ最も短絡的に結んだルートが「古代甲州道」でした。



▲ 小山内裏公園内 尾根緑道
西展望広場 (Google Map)

多摩境の小さな峠=内裏峠を越えるだけでたやすく大栗川に沿って多摩丘陵を越えられたのです。このことを縄文人たちもすでに知っていたからこそ、多摩ニュータウン遺跡の千箇所の遺跡がこの付近において濃密に分布したのではないのでしょうか。飛鳥時代以降~中世末までは武相国境であった。尾根道をたどり、いにしえの人々が往来した壮大なる時空間に想いを馳せつつ、歴史+古道+展望+運動で元氣なカラダ創りの実践を目指す健康ウォークです。



小山内裏公園内 尾根緑道
西展望広場 (Google Map)

【コース】京王相模原線「南大沢駅」改札口前12:30集合(昼食を済ませて)

→内裏峠を越える古代甲州道→尾根緑道の「小山内裏公園草地広場」や隣接の「閑栗山」で健康指導→尾根緑道・西展望広場→古代の手工業センターとも評される遺跡群(須恵器窯・瓦窯・木工製品工房・粘土採掘坑など)(多摩境駅西側一帯)→田端遺跡→旧町田街道→札次神社→多摩境駅(15:30頃 解散予定)



▲ 小山内裏公園内 芝生広場
(Google Map)



▲ 田端環状積石遺構
(2022/12/22撮影 宮田)

桑都あるき (その11)

— 南浅川石見土手・北浅川化石林を巡ります —

2023年

5月28日(日)

歴史古道情報▶▶ 高尾あるきの会 (伊藤)

連絡先 / 伊藤 三子 ☎090-5403-2217

【内容】今回は、古街道と川をテーマに企画しました。まず手始めに八王子の母なる川「浅川」を散策します。昨年5月にNHKで「プラタモ」で紹介された大久保長安石見守の治水事業跡、高麗若光ライン古道の多賀神社、城山川と北浅川合流近く約2000年前メタセコイヤ化石林露出地点を巡ります。椈原町になぜか平安末期創建の鹿島神社が鎮座しています。



▲ 南浅川右岸堤防
途切れています



▲ 北浅川メタセコイヤ化石林

【コース】JR西八王子北口階段の下(マツキヨ東側)10:00時集合→宗格院→石見土手→五月橋→南浅川堤防→日吉神社→多賀神社→多賀公園(昼食)→都水道局旧ポンプ棟→鶴巻橋→中野上町運動公園→北浅川→清川町→鹿島神社→神明神社→西中野3丁目バス停(15:00頃 解散予定)

※ 帰路は西中野3丁目バス停で解散し、京王八王子から西八王子に戻ります。



▶ 鹿島神社

地図を片手に多摩の古街道を歩こう!

— 多摩川 & 甲州街道の歴史と青柳産線の湧水を探索 —

2023年

6月10日(土)

歴史古道情報▶▶ 小山 正太郎 (伊藤)

連絡先 / 小山 正太郎 ☎090-4526-8629 (由木)

【内容】多摩川は昔より巖れ川と呼ばれ、特に戦国時代末期から江戸時代前期にかけて、洪水により立川から府中にかけての流路が大きく変わったことが知られています。この地域で渡河する古甲州道や甲州街道の変遷をたどりながら、今も湧水のある河岸段丘のハケ(青柳産線)や中世の武士居館跡、東日本最古の天満宮と言われる谷保天満宮をめぐる、歴史と地形と水と緑を感じられるウォーキングです。



▲ 青柳産線下の矢川おんだし



▶ 甲州街道産線下の谷保天満宮西の

【コース】JR南武線矢川駅北口 ロータリー前10:00集合→青柳段丘と矢川→現甲州街道→万願寺渡船場跡(古甲州道・江戸時代初期の甲州街道)→ママ下湧水公園→矢川おんだし→神奈川県庁の測量点の石碑→城山公園(昼食)→三田氏館跡→常盤の湧水→谷保天満宮(ハケ下の古道とハケ上の甲州街道)→南武線谷保駅(15:30頃 解散予定 / 歩行距離約4km)

多摩よこやまの道を歩こう!



事前申し込み不要。当日現地にて受付。小雨決行。雨天時は中止。
 (当日朝7:30までに各連絡先にお問い合わせ下さい。) 昼食(弁当・飲料・敷物・雨具等ウォーキンググッズは各自ご持参下さい。参加費【半日ウォーク/団員 一般とも500円(保険料込み) ※6月2日
 【1日ウォーク/団員 500円 一般は1名1000円(保険料込み) ※7月5日

《半日ウォーク》 ◀◀◀ ガイド / 京都 純太郎 (団員) 連絡先 ☎090-3315-2381 (京都 純太郎)

2023年 6月 2日 (金) よこやまの道 東コース 《若葉台～聖蹟桜ヶ丘》

【内容】今回は、多摩市が「多摩よこやまの道」を東の終点としている丘の上広場から東へ向かうルートです。多摩市の東部の天王森に鎮座する八坂神社を經由して、ほぼ尾根に沿って歩きます。途中、尾根古道跡と思われる場所に立ち寄り、古代東海道、鎌倉街道早ノ道、尾根古道が逢う坂(大坂)を通るロマン溢れるウォーキングです。そろそろ紫陽花が咲いているでしょうか?



▲春日神社



▲八坂神社



▲尾根古道

【コース】京王・相模原線「若葉台駅」10:00集合→丘の上広場→八坂神社(天王森)→蓮光寺公園→都立桜ヶ丘公園→大谷戸公園→春日神社→大坂→京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」(12時30分頃解散予定)

《1日ウォーク》 ◀◀◀ ガイド / 岡田 渉 (団員) 連絡先 ☎070-3121-7002 (岡田 渉)

2023年 7月 5日 (水) よこやまの道 里山の湧水と谷戸巡り

【内容】水田に水が入ると夏だなと感じます。日本人の心のどこかにある原風景ですね。今回は、多摩丘陵の南側(町田市側)の谷地から湧き出る水によって形成された里山を訪ね、歴史と自然環境を体感します。多摩丘陵は海進と海退を繰り返しながら、隆起と侵食や堆積の結果、谷勾配が緩やかで頂部が丸みを帯びた慢食谷(谷戸)が発達したと言われていきます。最初に梅木窪湧水を訪ねアサザ池を經由し、都立小山田緑地まで歩きます。午後は奈良ばい谷戸を経て小野路宿里山交流館で解散します。



▲アサザ池



▲梅木窪湧水



▲奈良ばい谷戸

【コース】小田急線「唐木田駅」改札口前10:00時集合→多摩よこやまの道→奥州古道(長坂道)→梅木窪湧水→アサザ池→さばん峠→つり橋→都立小山田緑地(昼食)(12:30一次解散)
 午後は白山神社→奈良ばい谷戸(休憩)→萬松寺→小野路宿里山交流館(15:30頃解散)

新たな「講師ガイド」さんがどんどん活躍しています

当団体では、60歳以上のベテラン講師ガイドもおられ、また新たに可能な範囲で案内役をして下さる方も増えています。また、30代～50代の次世代講師ガイドさんの活躍も始まりました。働き盛りの世代でも、子育て世代でも、「古街道とそこに関わる壮大なる歴史ロマン」は、誰でも親しむことや馴染むことが出来る世界であり、時空を超えたイメージに夢中になってみることで、気づかなかった楽しさや豊かな感覚が生まれ、自分自身を大きく成長させてくれます。



——さらに他の人に話す・伝える・共有し合うことで、充実した時間が生まれ、自然と仕事のストレスや働きたい日々のリズムを安定したものに变化させることが出来ますし、家族にも友人にも、活動仲間にもいつも以上に優しく接するような効果が生まれるものと思います。

当団体では、これからも可能な限り講師ガイドを次世代も含めて増やし、参加される方々も応援して頂き、温かく見守って頂くことで、相互が豊かな時間を持てるものと考え、20年目の先の未来を見据えていきたいと思っています。



歴史古街道団 予定表

(2023年 5月 ~ 7月)

※注(団)=歴史古街道団 【宮田】=宮田太郎ウォーク 【学】=講演会・学習会 【ガイド】=ガイドリーダーウォーク

月日	集合場所・時間	探索・学習テーマ	参加費	申込	問合せ先
5月7日 (日)	小田急多摩線 「永山駅」 改札口前 10:00 (火)	【宮田】現地探索 “古代東海道の遺構を探る⑦” 多摩川を見下ろす丘で見つかった古代東海道 ～飛鳥時代の道路跡「打越山遺跡」の歴史ロマン～	一般:1500円 団員:1000円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
5月12日 (金)	京王相模原線 「南大沢駅」 改札口前 12:30	【ガイド;宮田&武田】健康ウォーク(半日) 古代景観を眺めて“健康ウォーク” ～武相国境の「内裏峠(だいりとうげ)」で古代甲州道を探索～	一般:1000円 団員:500円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
5月20日 (土)	多摩市関戸公民館 8階 大会議室 14:00～16:30	歴史古街道団総会(14:00～15:00) 【学】健康ウォーク講演会(15:15～16:30)	団員限定 一般:500円 団員:無料	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
5月28日 (日)	JR中央線 「西八王子駅」 北口 10:00	【ガイド;団員 伊藤】桑都あるき① 南浅川石見土手・北浅川化石林を巡ります	一般:1000円 団員:500円	当日	(団)伊藤 Tel.090-5403-2217
6月2日 (金)	京王相模原線 「若葉台駅」 改札口前 10:00	【ガイド;団員 京都】多摩よこやまの道を歩こう! 東コース(若葉台～聖蹟桜ヶ丘)<半日>	一般&団員 500円	当日	(団)京都 Tel.090-3315-2381
6月10日 (土)	JR南武線 「矢川駅」北口 ロータリー前 10:00	【ガイド;団員 小山】古道と湧水も探索 地図を片手に多摩の古街道を歩こう! ～多摩川&甲州街道の歴史と青柳崖線の湧水を探索～	一般:1000円 団員:500円	当日	(団)小山 yamabamba@outlook.jp 当日は090-4526-8629
6月17日 (土)	京王線 「聖蹟桜ヶ丘駅」 西口改札口前 10:00	【宮田】現地探索 “古代甲州道に沿う縄文ロード①” 大栗川に面した集落遺跡 縄文時代のロングハウスの謎	一般:1500円 団員:1000円	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431
7月5日 (水)	小田急多摩線 「唐木田駅」 改札口前 10:00	【ガイド;団員 岡田】多摩よこやまの道 里山の湧水と谷戸巡り	一般:1000円 団員:500円	当日	(団)岡田 Tel.070-3121-7002
7月22日 (土)	パルテノン多摩 4階会議室 1 13:00～16:30	歴史古街道団交流会 歴史ロマンと古街道団の野望を語り合う	団員:700円 (高菓子・飲料代込) (団員と友人)	当日	(団)宮田 Tel.090-7002-3431

編集後記

目に青葉 山ホトギス 古街道 マスクを外し里山の小径を訪ねると、そこには自然と上手に折り合いをつけた人々の知恵や暮らしが秘められているようです。これぞ日本の原風景でしょうか。見る・聞く・歩くに、喋るや食べるも添えた“センス・オブ・ワンダー”のイベントで、胃や脳にもご褒美のウォーキングを企画してみたいと考えています。

編集責任: 歴史古街道団(岡田)

【発行】歴史古街道団

歴史古街道団 団長 宮田 太郎

本部: 東京都多摩市
TEL.090-7002-3431

ホームページ <https://www.rekkodan.com/>